

収穫

待望の自社園の収穫 9月上旬から10月下旬までおこないました



ツバイゲルトレーベ



ソーヴィニヨンブラン

収穫直前の9月上旬に数日の降雨、また9月16日には台風の通過があり影響が心配されましたがその後好天の日が続き、良質なぶどうが収穫できました。畑でのサンプルの採取と分析を何度も繰り返しベストな収穫日を決定しました。



大事に手摘み

充実した収穫にスタッフの顔も笑顔で溢れます

太田圃場 シャルドネ ナイトハーベスト



昨年に続いて2回目の太田圃場のナイトハーベスト。糖度の上がる深夜から朝方に収穫を行います。日中より気温が下がる為、ぶどうの劣化を防ぎ新鮮な状態で仕込むことができます。ヘッドライトの明かりだけが頼りの収穫ですが、どんなワインになるのかを想像すると自然とテンションも高まります。

今のぶどう畑は 落葉も進み、静かな時間が流れています



塩尻では12月に入り最低気温が0℃を下回る日が多くなり畑から見える北アルプスも雪ですっかり白くなりました。現在畑では、ぶどうを守ってくれた雨よけビニール・防鳥ネットの撤収作業および肥料の散布作業をおこなっています。それらが終わるといよいよ剪定作業が始まります。

(文・写真 株式会社アルプスファーム 宮田 進)